

愛徳学園高等学校

進路トピックス

59回生（2022年度卒業生）

1：国公立大学に3名の合格者

学年28名に対して3名の生徒（10.7%）が、国公立の大学に合格しました。近年では、2019年度の卒業生で国公立大合格者の割合が11.1%となっています。

2：関関同立に5名の合格者

学年28名に対して5名の生徒（17.8%）が、いわゆる関関同立に合格しました。国公立大の合格者数、関関同立の合格者数に、産近甲龍の合格者数も加えると、実数で7名となり、これは今年度卒業生の25%です。

3：理系の医療分野への進学が人気

今年も薬学部の合格者が実数で3名、看護学部の合格者が実数で3名と、学年28名に対して4分の1近くの生徒が医療系の4年制大学へ進学しています。獣医学科の合格者が出たことも、本年の大きなトピックです。

4：多様な進路の実現

一方で、短期大学進学者は2名、専門学校進学者も3名で、どちらもほぼ例年通りの水準です。就職は2016年度以来となりました。なお、学校推薦型選抜の指定校制を利用した生徒は7名で、割合としてはここ3年で最も少なくなりました。